

学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
2年	国語科	夏がいっぱい	2年2組20名	2年2組教室	西岡 潤二

1 単元について

単元マップ

言葉による見方・考え方 児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること

子どもの深い学びの姿 夏に関する語句を理解し、短文を作ることを通じて、身近なことを表す語句の量を増やし、意味による語句のまとまりがあることに気付く姿

ま 解決・まとめ 夏を感じる言葉や自分の気持ちを入れて、内容のまとまりがわかる2つ以上の文を書き、夏の紹介カードを作ることができる。② **活用**

育成する思考力・判断力・表現力「経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えることを明確にする力」

1年生に、夏を紹介する夏カードを作ることを理解し、自分が選んだ夏を感じる言葉のイメージを広げて、短い文を作る。①

問題設定

◎最初に児童から出てきた夏を感じる言葉から、教師が1つ選んで提示し、その言葉からイメージできることを増やす。五感などを使って考える。
【例】スイカ（目～赤い、丸い、鼻～甘い、舌～シャリシャリ、手～つるつる、耳～ポンポン）など
◎児童が夏を感じる言葉を考え、その言葉からイメージできることを広げ、一文を作る。

習得

夏に関する言葉を使って2つの短文を書き、夏の紹介カードを作る。②

活用

身に付けさせる知識・技能

身近なことを表す語句（夏に関わる言葉）
せみ・つゆ草・あさがお・えだまめ・なす・ピーマン・とうもろこし・かぶと虫・くわがた虫・ひまわり・トマト・スイカ・花火・プール等

書くこと（考えの形成、記述）
語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫する。

単元の目標（育成する資質・能力）

- (1) ア言葉には、物事の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。
オ身近なことを表す語句の量を増し、話や文章をの中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。
(知識・技能)
- (2) ア経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えることを明確にすることができる。
(思考力・判断力・表現力)
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
(学びに向かう人間性)

研究内容 1 ～主体的に活動する子供～

問題・課題解決のための追求や対話や活用（展開）を通して、自分の言葉で思いや考えを表現できるようにする。

本時の展開【1時間目／2時間扱い】*思考アクティブ化シートB-②【対話重視】

〈本時の目標〉

夏を感じる言葉を集め、短文を作って語彙を増やすことができる。（知識・技能）

	子供の学習活動	子供の思考	<input type="checkbox"/> 教師の働きかけ <input checked="" type="checkbox"/> 主な発問 ◆ 評価（評価方法） <input checked="" type="checkbox"/> 思考アクティブ化ポイント
導入 10分	1 前時を想起する ・春の単元を思い出す。 ・教科書の挿絵から思いつく言葉を言う。 ・単元の学習課題を確認する。 →夏を感じる言葉をもとに、夏カードをつくる。	「ひまわり」 黄色！たね！花！かわいい！ 大きい！背が高い！太陽みたい！	<input type="checkbox"/> 春の時の単元を想起させ、本時と関連付ける。
夏を感じる言葉を使って、短い文を作ってみよう！			
展開 30分	3 追究・解決活動を行う ① 「 」という言葉から思いつく言葉をホワイトボードに記入する。（個人） ② 記入した言葉をグループで交流しながら、さらに言葉を記入する。（グループ） ③ カードにしたい言葉を決め、思いつく言葉をホワイトボードに記入する。（個人） ④ 記入した夏を感じる言葉を使って、短文を作り、発表する。（個人→全体交流）	「スイカ」 赤！あま！おいしい！おしゃり！しゃり！するつる！ 私は「海」でたくさん言葉を探したいな！	<input checked="" type="checkbox"/> 夏に関する言葉からイメージを広げ、短文作りへつなげる。 【思ア⑩広げてみる】 <input checked="" type="checkbox"/> 夏を感じる言葉を集め、短文を作って語彙を増やしている。（ホワイトボード、発表）
終末 5分	4 まとめる 5 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">夏を感じる言葉を使うと、夏の思い出をたくさん表現できる！</div> ・次時への見通しをもたせる。 →自分が決めた夏を感じる言葉を使って、いくつかの文を作り、夏カードを作る。		

ニコニコシート 「夏がいっぱい」

なまえ _____

「夏がいっぱい」のもくひょう 「1年生に、夏をしょうかいする夏カードをつくろう！」

＜1じかんめ＞7月22日（月）			
すること	○夏をかんじることばをつかって、みじかい文をつくる。	ビフォー	アフター
レベル3	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏がいっぱい」で、することがわかり、せつめいできる。 ・夏をかんじることばを見つけて、2ついじょうの文をつくる。 		
レベル2	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏がいっぱい」で、することがわかる。 ・夏をかんじることばを見つけて、1つの文をつくる。 		
レベル1	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏がいっぱい」で、することがわかる。 ・夏をかんじることばを見つけて、ことばをつなげる。 		
ニコニコメモ			

＜2じかんめ＞7月 日（ ）			
すること	○夏をかんじることばをつかって文を作り、1年生に夏をしょうかいする夏カードを作る。	ビフォー	アフター
レベル3	<ul style="list-style-type: none"> ・夏をしょうかいするカードを、ことばのつながりを考えてわかりやすい文でつくる。 ・夏をかんじることばや自分の気持ちを入れて、3ついじょうの文をつくる。 		
レベル2	<ul style="list-style-type: none"> ・夏をしょうかいするカードを、ことばのつながりを考えてつくる。 ・夏をかんじることばや自分の気持ちを入れて、2ついじょうの文をつくる。 		
レベル1	<ul style="list-style-type: none"> ・夏をしょうかいするカードをつくる。 ・夏をかんじることばを入れて、1つの文をつくる。 		
ニコニコメモ			